

## 「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第9回

### 1. 実施日

令和3年9月25日（土）1、2限

### 2. 場所

333 教室 B-1～5、334 教室 A-1～5

1 棟多目的教室（北） C-1～5、1 棟多目的教室（南） D-1～5

### 3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

### 4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川 和余、佐々木 啓成、中澤 知里、宮崎 雄史郎

### 5. 内容

#### 今後の課題研究の流れの理解

「研究報告書」Ver. 2=ポスター作成（9/25 と 10/2）

→10/23 に最終準備：ポスター及び原稿修正＋想定問答集の作成

→11/6 に大阪大学の先生方・TAの皆さまの前でポスターセッション発表

#### 「研究報告書」Ver. 2=ポスター作成

「調査シート」②や大阪大学アカデミック・ライティング講座で作成した「パラグラフライティング ワークシート」をもとに、「研究報告書」Ver. 2を作成する。

作成時の注意点

- (1) RQ（問い）と仮説（答え）は明確で、論拠・証拠に基づいているか。
- (2) 明確な証拠に基づいた科学的な文章となっているか。
  - ・基礎となる概念が定義されているか。
  - ・測定可能か。数値データが必要。
  - ・偶然関係があるようにみえるだけではないか。
  - ・文化・時代の影響はないか。
- (3) 思考が整理された分かりやすい文章となっているか。  
\*注意点が守られているかどうかを、5W1Hツッコミでチェックする。

ポスター作成のルール

- (1) Excel ファイルにデータ入力する。
- (2) グラフ・資料等を盛り込み、文章だけにならないようにする。
- (3) 出典を明記する。（『課題研究メソッド』pp. 28-29 参照）

### 6. 学び

「研究報告書」の作成をとおして、①現状の理解 ②現状の確認・分析 ③仮説構築までを行う。また、前回のアカデミック・ライティング講座で学んだ（1）問いと答えのある文章、（2）明確な証拠に基づいた科学的な文章、（3）思考が整理された分かりやすい文章で表現する。

### 7. 次回への課題

ポスターセッション（11月6日）に向けて、「研究報告書」Ver. 2を完成させ、発表原稿や想定問答集を作成する。

## 8. 本時の振り返り

個人で作成した「調査シート」や大阪大学アカデミック・ライティング講座(9月11日実施)で作成した「パラグラフライティング ワークシート」をもとに、以下のような作成時の注意点を意識しながら「研究報告書」Ver.2を作成させた。

(1) RQ(問い)と仮説(答え)は明確で、論拠・証拠に基づいているか。

(2) 明確な証拠に基づいた科学的な文章となっているか。

- ・基礎となる概念が定義されているか。
- ・測定可能か。数値データが必要。
- ・偶然関係があるようにみえるだけではないか。
- ・文化・時代の影響はないか。

(3) 思考が整理された分かりやすい文章となっているか。

生徒たちは自分たちの研究の質の高まりを実感しながら、活発な議論ができていた。